

平成31年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	国語	科目名	現代文A	単位数	1	履修学年・クラス	3ABC
担当者	使用教材 東京書籍「現代文A」・「新総合図説国語」・国語辞典						

学習目標	近代以降のさまざまな文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
------	---

学習方法	○様々な文章を読み味わい、人間・社会に対する理解を深め、自己の表現に役立てる。 ○自分の意見を話したり書いたりすると同時に他者の意見にも耳を傾ける習慣を身につける。 ○常用漢字の修得とともに慣用句の語源定着をめざす。
------	--

	評価の観点	科目の評価の観点的趣旨
学習評価	関 関心・意欲・態度	文章を読む楽しさを味わい読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
	能 話す・聞く能力	
	能 書く能力	
	能 読む能力	目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。
	知 知識・理解	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。		

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	話	書	読	知		
前期中間	小説 「こころ」	近代人の複雑な心理に迫り、対人関係における利己主義(エゴイズム)について理解を深める。	○	○	○	○	○	関：登場人物の心理に肉薄している。 能：日本人独特の考え方を理解しようとしている。 知：難解な表現を理解しようとしている。	考査 行動の観察 提出物確認
前期末	小説 「こころ」	近代人の複雑な心理に迫り、対人関係における利己主義(エゴイズム)について理解を深める。	○	○	○	○	○	関：登場人物の心理に肉薄している。 能：日本人独特の考え方を理解しようとしている。 知：難解な表現を理解しようとしている。	考査 行動の観察 提出物確認
	詩歌 「永訣の朝」	韻文に込められた情景と作者の思いを理解し、郷土の先人に対して理解を深める。	○	○	○	○	○	関：韻文に触れようとしている。 能：文字表記されていない真意を理解している。 知：比喩表現や類似した韻の活用効果を理解している。	
	随想・評論 「豊かさや生物多様性」	取り上げられている問題を読み取り、人間や社会、自然などについての視野を広げる。	○	○	○	○	○	関：農学者として自分自身に引き寄せている。 能：筆者の主張を理解している。 知：難解な語句の意味を理解している。	
後期中間	小説 「蠅」	表現や展開を的確に読み取り、主題を理解するとともに、奇想天外な結末の面白さにふれる。	○	○	○	○	○	関：近代の作家について知ろうとしている。 能：登場人物の人間性と心理状態を理解している。 知：明治の風俗を示す語句を理解している。	考査 行動の観察 提出物確認
	小説・詩歌 「真面目な二人」	表現や展開を的確に読み取り、主題を理解する。	○	○	○	○	○	関：表現や展開を的確に読み取ろうとしている。 能：登場人物の心情を理解している。 知：語句の意味や用法、比喩について理解している。	
	随想・評論 「思考の肺活量」	難解な言葉を理解しながら人間と現代社会の問題点を読み取り、視野を広げる。	○	○	○	○	○	関：現代社会の問題点を理解しようとする。 能：文の前後のつながりを理解し、大意を把握する。 知：語句の意味や用法を理解している。	
後期末	小説 「山椒魚」	登場する生物に仮託された人間心理を理解する。	○	○	○	○	○	関：1対1の生物の関係とやりとりに関心を持つ。 能：置かれた状況とやりとりの中身を理解する。 知：語句の意味や用法を理解している。	考査 行動の観察 提出物確認
	随想・評論 「言葉は世界を切り分ける」	言葉の持つ機能を改めて理解し、視野を広げる。	○	○	○	○	○	関：「言葉」の指し示す範囲に関心を持つ。 能：筆者の視点を理解している。 知：言語と文化の違いの関連性を理解している。	